



2024.8.8

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明会資料

セイノーホールディングス株式会社 (9076)

# 目次

01

2025年3月期 第1四半期 決算概要

02

三菱電機ロジスティクスについて

Appendix

# 本日お伝えしたいこと



## ■売上・営業利益は、増収・増益

- ・ 輸送事業での適正運賃収受の進展による単価の上昇
- ・ 日当り物量は、6四半期ぶりの増加（前年同期比）
- ・ 自動車販売事業などの業績が順調に推移

## ■特積みの単価は上昇、物量はプラスに転じた

- ・ 単価は、6月には適正運賃収受の進展と、24年運賃の効果も加わり103.4%に上昇（7月速報値103.9%）
- ・ 物量は、強みである長距離・高重量帯が施策により伸長し、前年同期比でプラスを確保（24年問題による影響と仮説、経済の先行きが不透明なこともあり楽観はできない）

## ■業績予想は据え置き

- ・ 適正運賃収受の進展による単価改善は、第2四半期以降も手応えがあることから業績予想は据え置き（10/1の三菱電機ロジスティクス連結化による影響は精査中）

01

# 2025年3月期 第1四半期 決算概要



# P / L : 増収・増益



増収・増益となったものの、固定資産処分損などにより、四半期純利益は減益

単位:百万円	23.6	24.6	前年同期比	上期進捗率
売上高	159,242	164,632	+3.4%	51.9%
売上総利益	17,999	19,039	+5.8%	
(粗利益率)	11.3%	11.6%	+0.3pt	
販売管理費	11,839	12,492	+5.5%	
営業利益	6,160	6,546	+6.3%	54.6%
(営業利益率)	3.9%	4.0%	+0.1pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,429	3,195	▲27.9%	42.6%

## 売上高

前年同期比 +3.4% 上期進捗率 51.9%

輸送事業は、適正運賃収受の進展による単価上昇や、長距離・高重量帯の強みを活かした施策による物量の伸長もあり増収、自動車販売事業などの増収も加わり、5,389百万円の増収

## 営業利益

前年同期比 +6.3% 上期進捗率 54.6%

輸送事業では、営業日数や外注費等の増加の影響もあり、減益となったものの、自動車販売事業などの増益により、385百万円の増益

## 四半期純利益

前年同期比 ▲27.9% 上期進捗率 42.6%

持分法投資損益の減少（674百万円）や、今期計画の建物撤去が第1四半期に集中し、建物撤去費用（1,275百万円）として固定資産処分損に計上したことなどの影響もあり、1,233百万円の減益

# 事業の概要：輸送事業は増収減益



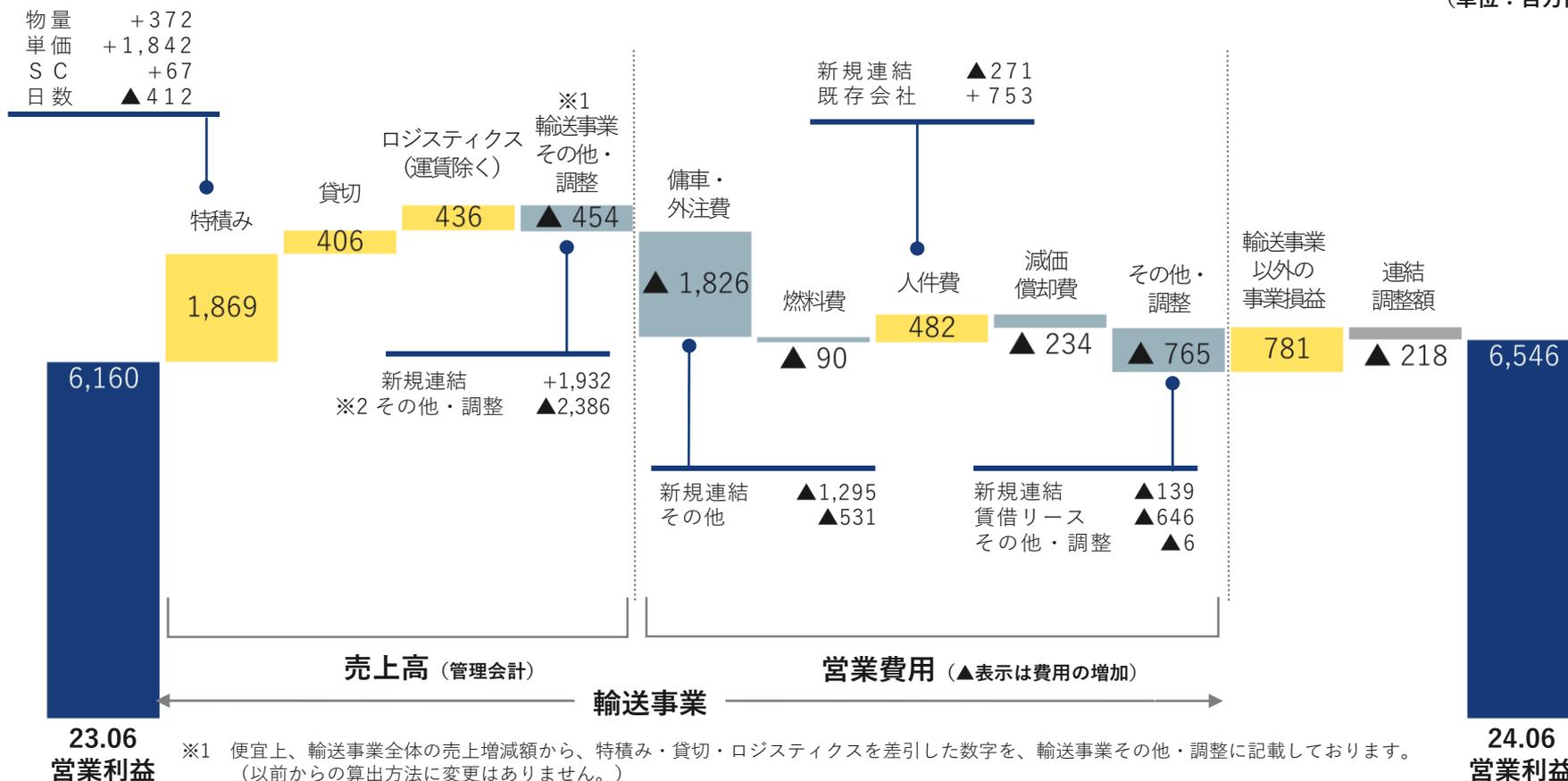
単位:百万円	売上高 (前年同期比) 【上期進捗率】	営業利益 (前年同期比) 【上期進捗率】	24.6 事業概況	KPI
輸送事業	120,122 (+1.9%) 【51.3%】	3,580 (▲4.7%) 【45.9%】	<p><b>売上高</b></p> <p>特積みでの適正運賃收受の進展による単価上昇や、長距離・高重量帯の強みを活かした施策による物量の伸長もあり増収</p> <p><b>営業利益</b></p> <p>適正運賃收受の推進による増益効果はあったものの、営業日数減(0.3日)や外注費増加等の影響もあり減益</p>	<p><b>特積 前年同期比</b></p> <p>物量 100.4% (日当り) kg単価 102.4% (一般)</p> <p><b>ロジスティクス 前年同期比</b></p> <p>売上 104.4% (発送運賃除く)</p> <p><b>貸切 前年同期比</b></p> <p>売上 103.3% (西濃運輸 105.8%)</p>
自動車販売事業	28,882 (+6.9%) 【56.6%】	2,408 (+29.5%) 【83.1%】	<p><b>売上高</b></p> <p>乗用車販売台数は、メーカーの認証不正の影響もあり減少したものの、高価格帯の新型車種の販売が好調であったことや、トラック販売台数の大幅増加もあり増収</p> <p><b>営業利益</b></p> <p>新車販売の売上増加に加え、中古車販売での利益や、車検・メンテナンスなどの利益の増加により増益</p>	<p><b>新車販売台数 前年同期比</b></p> <p>乗用車 4,208 台 (83.3%) トラック 766 台 (132.3%)</p>
物品販売事業	8,770 (+10.2%) 【50.7%】	244 (+38.3%) 【61.0%】	<p>燃料価格の上昇に加え、家庭紙販売が好調であったこともあり、増収・増益</p>	
不動産賃貸事業	576 (+4.4%) 【51.0%】	421 (+4.1%) 【51.5%】	<p>新規賃貸物件 (旧浅草支店) の増加などもあり、増収・増益</p>	
その他	6,280 (+7.6%) 【46.3%】	460 (+47.3%) 【51.1%】	<p>情報サービス、住宅販売業などの伸長により、増収・増益</p>	

# 連結営業利益の増減要因（前年同期比）



輸送事業は、適正運賃収受の進展や新規連結などにより増収となったものの、日数減や備車・外注費等の増加の影響もあり減益、自動車販売事業などが順調に推移し、連結営業利益は増益

（単位：百万円）



※1 便宜上、輸送事業全体の売上増減額から、特積み・貸切・ロジスティクスを差引した数字を、輸送事業その他・調整に記載しております。（以前からの算出方法に変更はありません。）

※2 ※1の数値より、新規連結による影響額を差引した数値を記載しております。



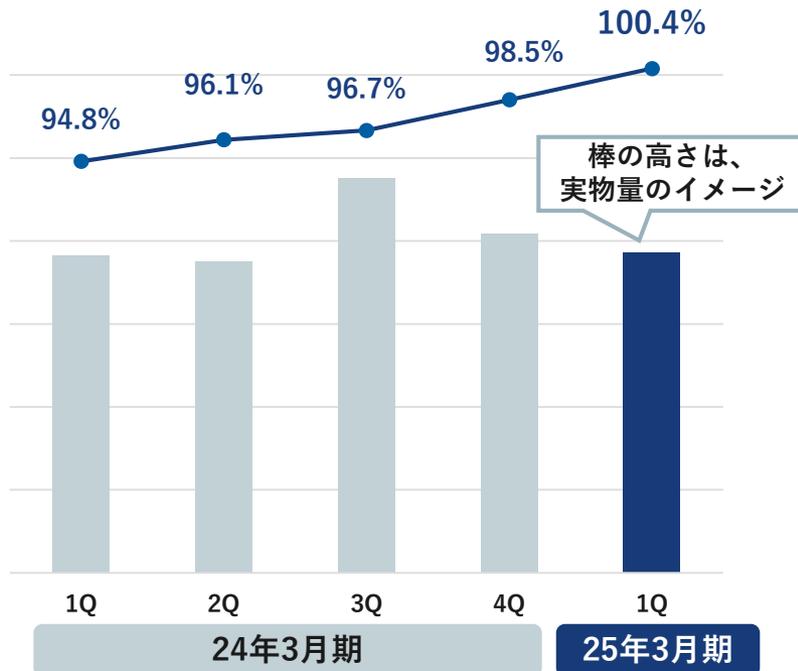
# 特積み：物量・単価の状況

長距離・高重量帯の強みを活かした

施策により物量は増加

日当たり物量（前年同期比）

（グループ集計）

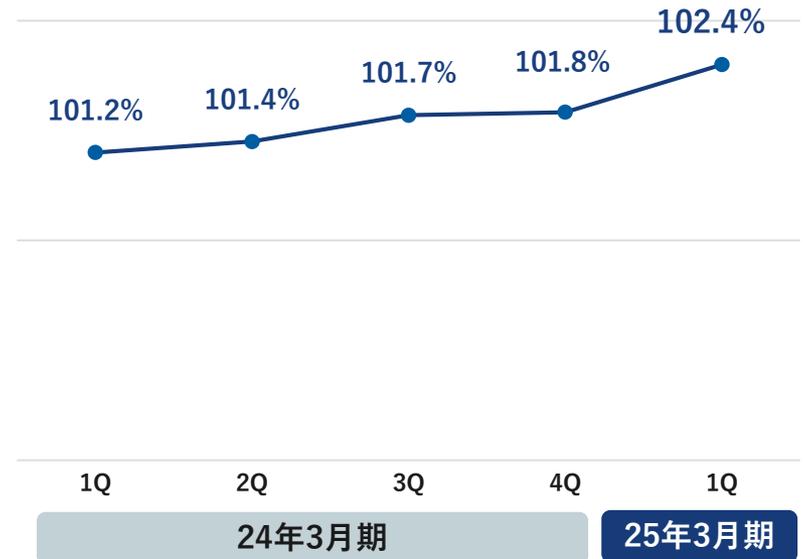


適正運賃収受が進展し、

単価改善幅が拡大

kg単価（前年同期比）

（グループ集計：一般）

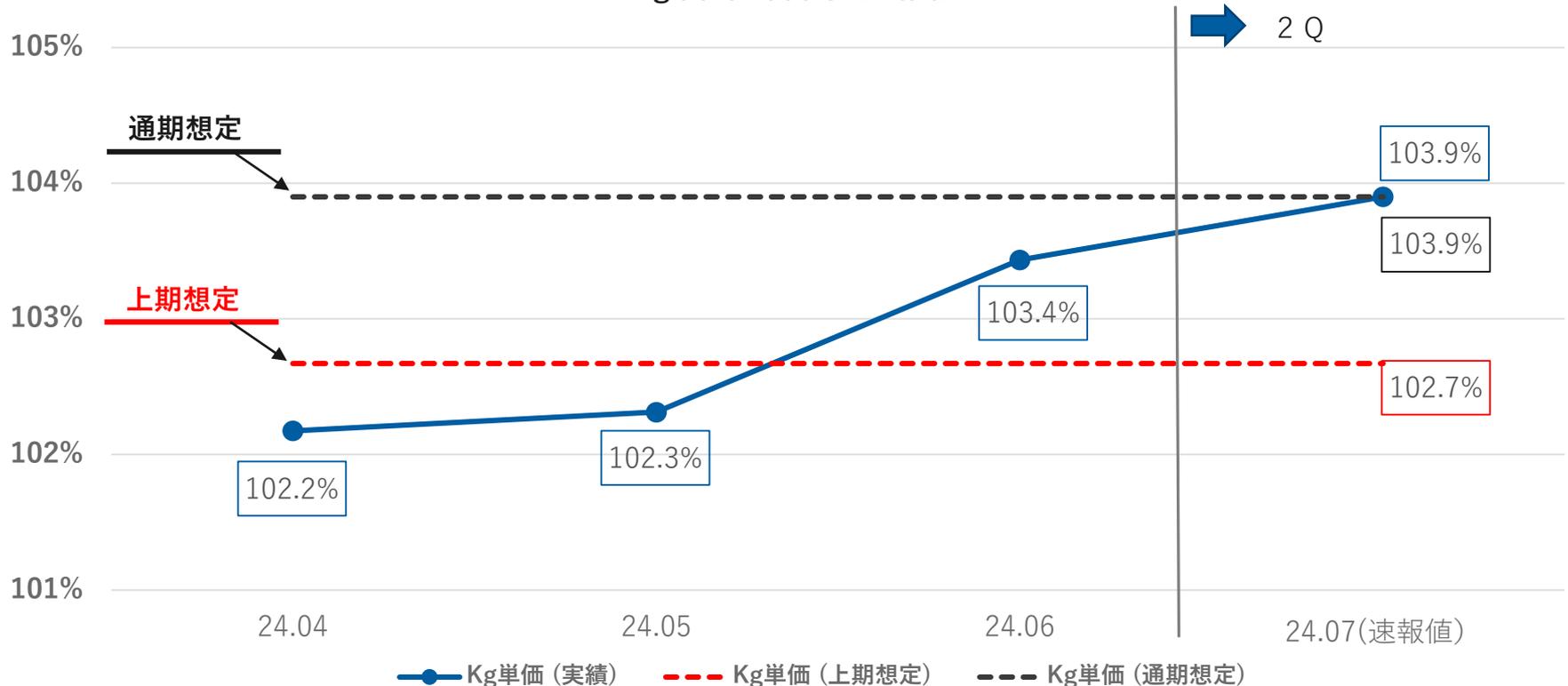


# 適正運賃の收受による単価向上（西濃運輸：一般）



6月には24年運賃の効果も加わり103.4%まで上昇、更に7月には103.9%（速報値）まで上昇し、上期102.7%・通期103.9%の想定単価が見えてきており、更なる上積みを目指す

Kg単価前年同月比の推移

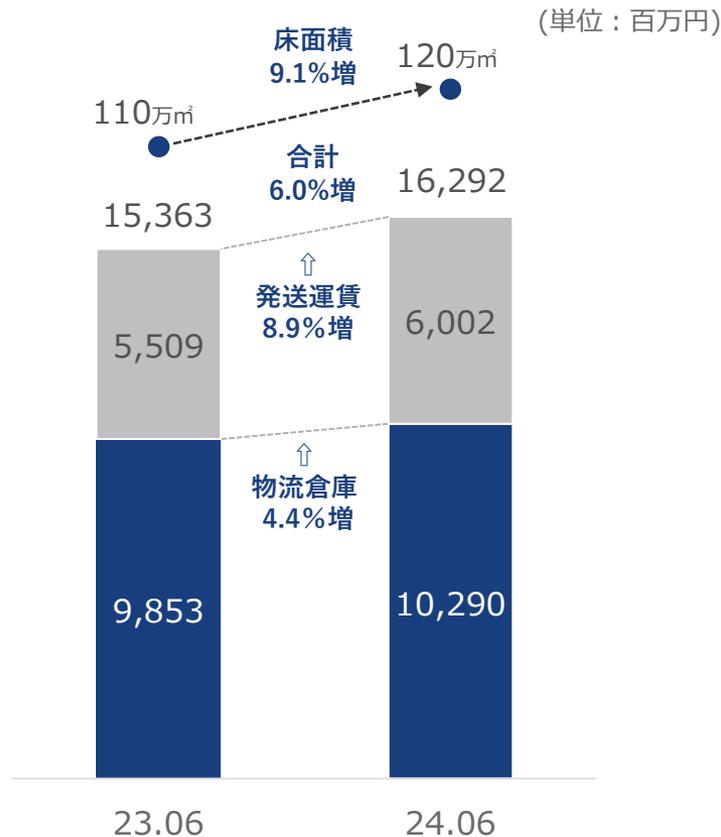


# ロジスティクス・貸切事業の状況



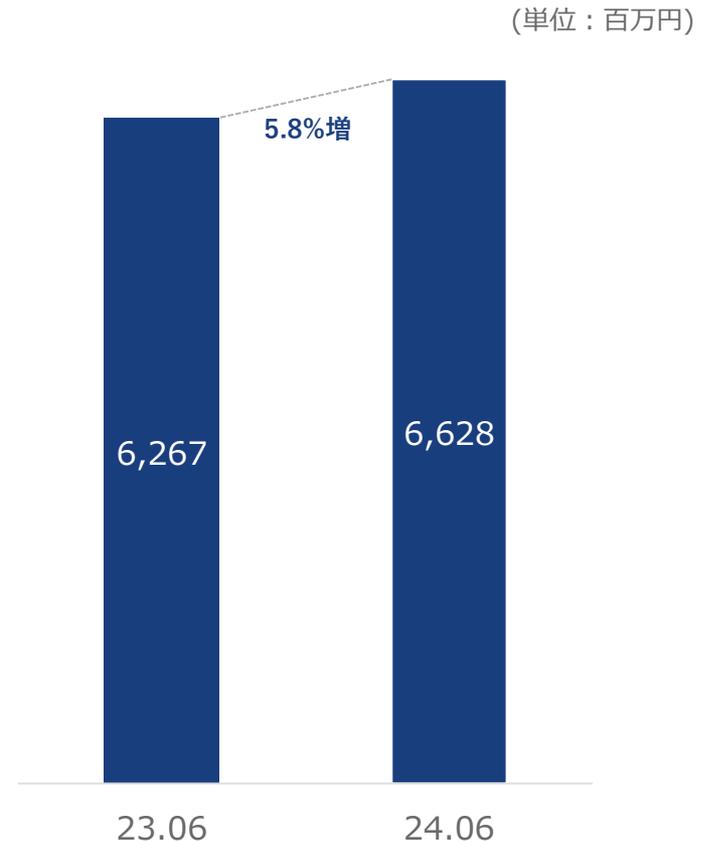
## ロジスティクス | 売上高 (管理会計)

外部倉庫2拠点加わり床面積は拡大  
本格稼働が2Q以降となるため床面積拡大が先行



## 貸切 | 売上高 (西濃運輸：管理会計)

ハコベル機能の利用拡大もあり、  
貸切の売上高は5.8%の成長



# 営業費用



自動車販売事業や物品販売事業での、売上増加による商品仕入原価の増加や、新規連結を含む外注費の増加などの影響もあり、営業費用は増加

単位:百万円	23.6	24.6	前年同期比	コメント				
人件費	54,475	54,277	▲198 (▲0.4%)	賃上げにより人件費単価は上昇したものの、 人員の減少もあり人件費は微減				
燃料費	4,400	4,502	+101 (+2.3%)	<table border="0"> <tr> <td>輸送事業での増加</td> <td>90百万円</td> </tr> <tr> <td>輸送事業以外での増加</td> <td>11百万円</td> </tr> </table>	輸送事業での増加	90百万円	輸送事業以外での増加	11百万円
輸送事業での増加	90百万円							
輸送事業以外での増加	11百万円							
減価償却費	5,103	5,361	257 (+5.1%)	<table border="0"> <tr> <td>車両・運搬具の増加</td> <td>118百万円</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品の増加</td> <td>135百万円</td> </tr> </table>	車両・運搬具の増加	118百万円	工具器具備品の増加	135百万円
車両・運搬具の増加	118百万円							
工具器具備品の増加	135百万円							
備車料・取扱手数料・外注費	45,154	46,980	+1,826 (+4.0%)	<table border="0"> <tr> <td>新規連結による影響額</td> <td>1,295百万円</td> </tr> <tr> <td>新規連結以外での増加</td> <td>531百万円</td> </tr> </table>	新規連結による影響額	1,295百万円	新規連結以外での増加	531百万円
新規連結による影響額	1,295百万円							
新規連結以外での増加	531百万円							
その他	43,947	46,964	+3,016 (+6.9%)	<table border="0"> <tr> <td>商品仕入原価の増加</td> <td>1,847百万円</td> </tr> <tr> <td>賃借・リース料の増加</td> <td>646百万円</td> </tr> </table>	商品仕入原価の増加	1,847百万円	賃借・リース料の増加	646百万円
商品仕入原価の増加	1,847百万円							
賃借・リース料の増加	646百万円							
<b>営業費用合計</b>	<b>153,082</b>	<b>158,085</b>	<b>+5,003 (+3.3%)</b>					

# キャッシュ・フロー



営業CFは増加するも、固定資産取得による支出の増加などによりフリーCFは減少  
現金及び現金同等物は、期首から56億円、前年同期末からは287億円減少した

単位:百万円	23.06	24.06	増減額	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	14,123	20,272	+6,149	法人税等の支払額の減少 (+3,879) 棚卸資産の減少 (+2,676)
投資活動による キャッシュ・フロー	▲7,742	▲15,656	▲7,914	固定資産取得による支出の増加 (▲8,609)
財務活動による キャッシュ・フロー	▲8,925	▲10,259	▲1,333	配当金支払額の増加 (▲1,385)
フリー・キャッシュ・フロー	6,380	4,615	▲1,765	
現金及び現金同等物に係る 換算差額	20	26	+6	
現金及び現金同等物の増減	▲2,524	▲5,617	▲3,092	
現金及び現金同等物の 期首残高	101,065	75,378	▲25,686	
現金及び現金同等物の期末残高	98,540	69,761	▲28,779	

02

## 三菱電機ロジスティクスについて



# 三菱電機ロジスティクスの グループインに向けて



三菱電機と三菱電機ロジスティクス、ならびにセイノーHDで分科会を組成  
10月1日グループインに向けて、順調に準備を進めている

## ■主要タスク

- ・新社名
- ・株式譲渡手続き
- ・独禁法対応
- ・経営体制
- ・連結決算対応準備  
など

三菱電機  
ロジスティクス

## ■分科会体制

- ・ビジネス
- ・人事総務
- ・財務税務
- ・IT

## ■各契約締結を予定 クロージング前

- ・移行サービス契約
- ・物流業務委託の継続契約  
など

## クロージング後

- ・サービスに関する個別契約  
など

セイノーHD

三菱電機

# 想定されるシナジー



## ■セイノーグループの機能を三菱電機に展開（売上増）

- ・セイノーHDの提携先&合弁先と連携した機能提供による、国際ネットワークの拡充
- ・三菱電機ロジスティクス単体では提供できていなかった機能を、セイノーグループと融合し三菱電機のサプライチェーンを可視化ならびに最適化

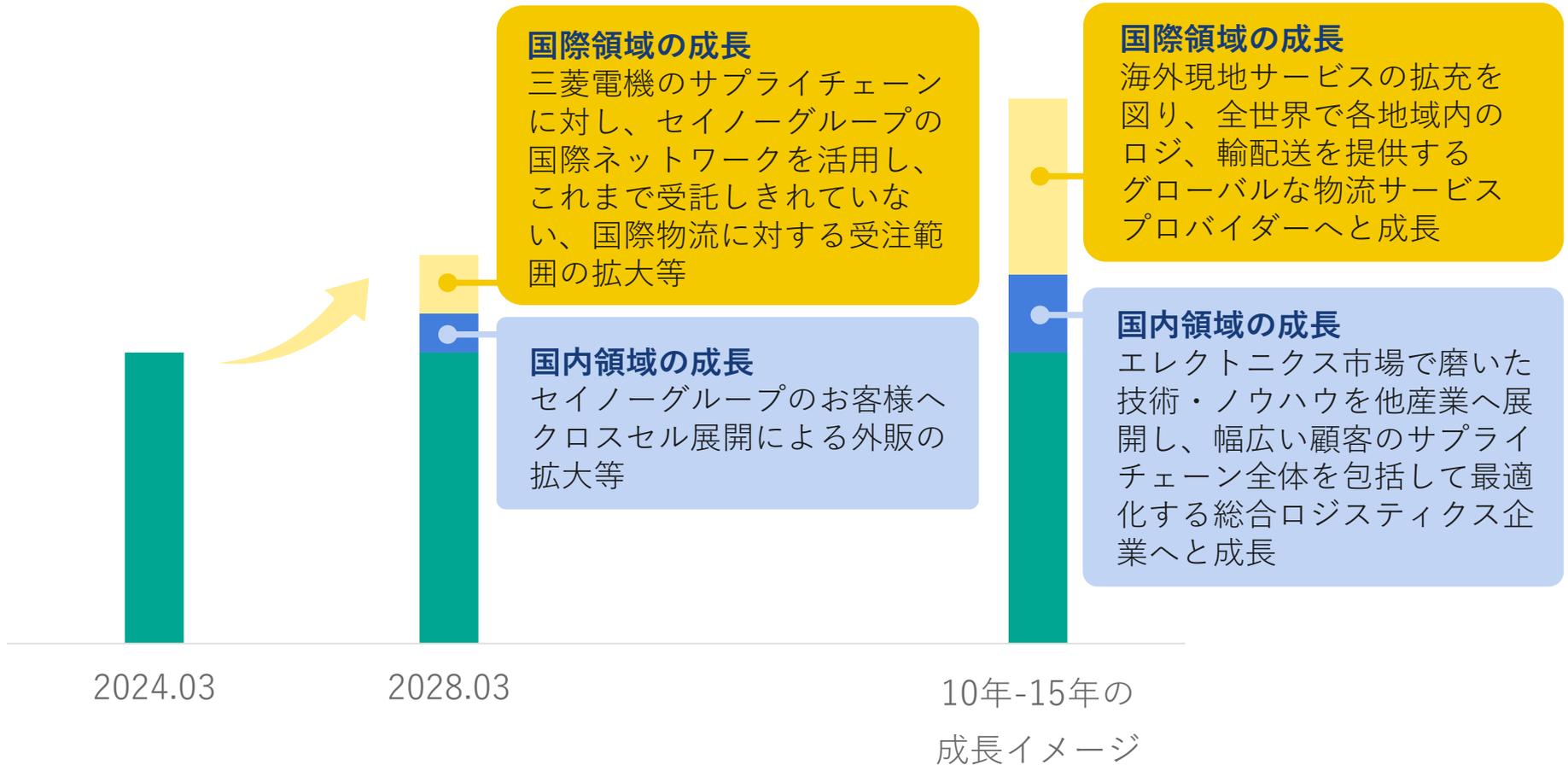
## ■三菱電機ロジスティクスの機能をセイノーグループの顧客に展開（売上増）

- ・エレクトロニクスを中心とする三菱電機ロジスティクスの各種物流ソリューション、および施設機能、オペレーションノウハウ、管理手法をセイノーグループのお客様へ展開

## ■セイノーグループと三菱電機ロジスティクス連携による効率化（生産性UP・費用減）

- ・双方顧客の送客のため、営業人材および現場運営人員の交流による「営業力」「現場力」の強化
- ・双方の拠点・施設を相互に有効活用することでの各種効率化に寄与、各種ムダの排除
- ・共同購買によるコストの低減

# 三菱電機ロジスティクスの成長イメージ





SEINO

# Appendix

# (再掲) 三菱電機ロジスティクス会社概要



## 会社概要

会社名	三菱電機ロジスティクス株式会社 ※新商号は、現在のところ未定
設立	1958年7月1日
売上高	1,063億円 (単体 2024.03実績)
営業利益	31億円 (単体 2024.03実績)
従業員数	(単体) 998名 (グループ総数) 2,811名
延床面積	486,951㎡ (全国35ヶ所)
車両数	自社車両数 約250台 パートナー車両数 約2,500台

## サービス概要



生産・調達物流  
ソリューション



販売物流  
ソリューション



国際物流  
ソリューション



建設  
ロジスティクス



重量品輸送・精密  
機器輸送サービス



半導体・電子部品  
物流サービス



法人向け移転・  
搬出・搬入サービス

■ISTA認定を受けた技術力と設備を備えた包装技術センターを保有



貨物評価



材料評価



# (再掲) 国内物流の最適化・効率化につなげる 当社の機能



セイノーグループ有する既存倉庫の活用、ならびに新たな施設投資を含めた需給対応

三菱電機ロジスティクス有する物流センター機能に限らず、セイノーグループ有する物流センター機能を活用することで、三菱電機の需給に対し柔軟な対応が可能

物流センター



約**118.8**万㎡  
(280拠点)



約**48.7**万㎡  
(35拠点)

ハコベルを活用した車両の安定供給

デジタルプラットフォームを展開するハコベルの車両供給力を活用する事で、2024年問題やドライバー不足による運べないリスクに対しコンプライアンスに準拠した車両の安定供給に貢献



積み合わせ貸切、共同輸送の実施による効率化など

中ロット貨物に対する積み合わせ貸切輸送「メガエキス便」の活用など、共同配送を通じた積載率の向上による、輸送コストの抑制

調達物流における更なるサプライチェーンの最適化

全国ネットワークの優位性を活かし、全国のサプライヤーからの集荷や、工場への一括納品を行うことによって運送コストの抑制と共に三菱電機の業務負担を軽減

# 参考情報リンク先



## 中長期の経営の方向性 ～ありたい姿とロードマップ2028～

説明会資料

[https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202403/202403\\_1setsume.pdf](https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202403/202403_1setsume.pdf)

アーカイブ動画

<https://net-presentations.com/9076/20230613/xdsksdk35/>

## 2024年問題がもたらす影響とセイノーHDの価値向上に向けて

説明会資料

[https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202403/202403\\_2setsume.pdf](https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202403/202403_2setsume.pdf)

アーカイブ動画

<https://net-presentations.com/9076/20231013/bxklew1/>

## パートナーシップ戦略による企業価値向上について

説明会資料

[https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202503/202503\\_1setsume.pdf](https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202503/202503_1setsume.pdf)

アーカイブ動画

<https://net-presentations.com/9076/20240619/mp9ijq/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社 財務IR部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1番地

TEL : 0584-82-5023 FAX : 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail : [i.r@seino.co.jp](mailto:i.r@seino.co.jp)